

山形の新しいお米



山形から元気なお米



山形県庁県産米ブランド推進課
山形「つや姫」「雪若丸」ブランド化戦略推進本部
オールやまがた米づくり日本一運動本部

山形花笠まつりで「雪若丸」をPR!



横断幕と大うちわ、そして特訓した花笠音頭で「雪若丸」をPR!



観客に「つや姫」「雪若丸」のうちわを配るつや姫レディ

「ヤッショ、マカショ」と掛け声がかかれば、「シャンシャンシャン、ソーレ!」と鼻歌混じりに踊りだしてしまう、私たち山形県民。今年も山形花笠まつりが盛大に行われ、約14,000人の踊り手たちが華やかに花笠音頭を舞い踊りました。

花笠まつりに集まった県内外の皆さんに、もっと「雪若丸」を知っていただくため、8月5日の花笠パレードに参加してPRを行いました。観客の皆さんから、「雪若丸」の横断幕や大うちわへ興味深そうな視線が注がれ、「雪若丸はどんなおコメなの?」などとたくさんの質問をいただきました。つや姫レディが、「雪若丸」は粒感がしっかりとしているうえにもっちり感もある「新食感」の美味しいおコメであることをPRすると、皆さんは「新食感って気になるね」「早く食べてみたい」と期待のこもった様子で話していました。

稲刈りまで、あともう少しです。「つや姫」「雪若丸」をはじめとする山形県の新米をお楽しみに!

稲穂、たわわに実ってます

県内の稲の生育は順調で、すくすくと育った稲穂が太陽の光を一身に浴びています。いままで緑一色だった田んぼが、黄金色に近づいてきました。もみの中では、おコメがそのおいしさをギュッと凝縮させている真っ最中です。

もうすぐ山形県の新米が登場します。「つや姫」「雪若丸」はもちろん、「はえぬき」や「ひとめぼれ」などの山形県産のおコメにも注目です!



こうべを垂れ始めた「雪若丸」
(8/25 山形市にて撮影)

全国つや姫フォーラム2017 in おおいた

全国の「つや姫」生産者と情報交換を行いました

全国つや姫フォーラム2017 in おおいた



お揃いのシャツで会場一存在感を見せた山形県代表 13 名



大分県の米どころである田染（たしぶ）地区を視察

9月4日、大分県にて「全国つや姫フォーラム2017 in おおいた」が開催され、山形県代表としてつや姫マイスター9名や関係者合わせて13名が参加しました。このフォーラムは、「つや姫」のブランド力向上を目指し、「つや姫」を生産している8県の連携強化を図るために毎年開催されています。今年も各県の生産者や関係者ら約200名が集まり、「つや姫」のPR活動や栽培技術などについて情報交換を行いました。

室内研修会では、山形県の「つや姫」ブランド確立に向けた取組を紹介しました。始めに「美しい「つや姫」づくりコンテスト」※の作品を上映すると、高品質でおいしい「つや姫」が育つ美しい景観や、ひたむきに「つや姫」栽培に取り組む生産者の熱い思いが、参加者の心に響いたようでした。次に、山形つや姫マイスターの菅原さんから、マイスターとしての活動を通じた生産面での取組やPR活動について報告が行われました。菅原さんが、「私たちは「つや姫」づくりに誇りを感じています。今年もおいしい「つや姫」を届けるためにがんばります。」と締めくくると、会場からは大きな拍手が送られました。

※美しい「つや姫」づくりコンテスト：「おいしいつや姫は美しい水田から」をコンセプトに、こだわりのある米づくりを実践する産地がPR動画を作成し、産地の取組や田園風景の美しさを競うコンテスト。PR動画は、つや姫HPやYouTubeでどなたでもご覧になれます。

南東北インターハイ 腹が減っては戦ができぬ！

山形県が会場となった今年のインターハイ。全国から集まった高校生たちが、熱い闘いを繰り広げました。

山形県のおいしいおコメで選手たちをもてなそうと、選手や監督が宿泊する旅館やホテルで「つや姫」を提供しました。山盛りの「つや姫」を「うまい、うまい」とかきこむ選手たちの姿はとても清々しく、こちらにも元気をもらいました。

また、観客の皆さんや、選手の応援に駆け付けた保護者の皆さんにもおコメの名前やロゴマークをアピールするため、「つや姫」「雪若丸」グッズを配り県産米をPRしました。



宿泊先のホテルで「つや姫」をほおぼる選手たち